



クツワムシ号

八木場紀元さんのご冥福をお祈りいたします

平成30年6月23日に侍従会会員の八木場紀元さんが亡くなりました。

6月27日に通夜、28日に葬儀・告別式が行われ最後のお別れをしてきました。

クリーンアップメンバーの中でも人一倍元気で明るかった八木場紀元さんが急逝された事は非常に哀しく、残念でなりません。改めてご冥福をお祈りいたします。

八木場さんは大腸がんの手術後、間質性肺炎を発症し、何度か入退院を繰り返すなど闘病生活を強いられていましたが、体調の良い時は必ずクリーンアップに参加してくれました。特に近隣の小学校や幼稚園児が侍従川体験をする時には、必ずと言っていいほど応援してくれて、非常に頼りになる存在でした。近年はクリーンアップに参加されたときもその後の飲み会には参加されない為、ゆっくりと話す機会が無かったことが非常に心残りです。

八木場さん本当に有難うございました。安らかに眠り下さい。

クリーンアップグループリーダー 細川一雄



平成24年5月の拡大クリーンアップにて

クツワムシ (嚙虫) 学名: *Mecopoda nipponensis*

夏から秋にかけて草むらで「ガチャガチャ」と大きな声で鳴く。この声が嚙(くつわ)という馬の口に着ける器具が鳴る音に似ている事からこの名が付いた。北は関東から南は九州まで分布する。キリギリス亜目に分類されるが、肉食性の種が多いこのグループでは珍しく草食性で、クズを主な食草とする。これはクズ等のマメ科植物にはタンパク質が多く含まれている為、供給の安定する植物を選んだと言われている。体が大きい事から外敵に見つかりやすく飛翔能力も乏しい事や、生息地もクズの群落に限定される為環境開発にも弱く数が減少している。

深沢大地



水辺愛護会 20年表彰受賞!

侍従川水辺愛護会が20年永年表彰を受けることとなりました。侍従川の掃除は、水辺愛護会に登録する前からやっているの、20年以上続いたこととなります。皆さんに協力していただきながら、毎月コツコツ続けて行った結果が、評価されるのはとても喜ばしいことです。

なお、表彰式は、10月25日(木) 13:30~16:30、横浜情報文化センターで行われ、細川さんと田辺さんが出席する予定です。

水辺愛護会通信

Vol.17 H30.7
横浜市道路局河川管理課
〒231-0017
横浜市中区港町1-1
TEL 045-671-2855
FAX 045-651-0715

水辺愛護会表彰式のご案内
平成30年10月25日(木) 13:30~16:30
横浜情報文化センター 6階 情文ホール 開場12:30
(横浜市中区日本大通11番地)

平成30年度 永年表彰団体		
永年	区	団体名
10年	旭	中堀川プロムナード水辺愛護会
	旭	ゲンジの里水辺愛護会
	金沢	侍従川水辺愛護会
20年	泉	集いのまほろば水辺愛護会
	栄	八軒谷戸水辺愛護会
	栄	上荒井沢水辺愛護会
	戸塚	えんげい塾
	戸塚	坂本水辺愛護会
	瀬谷	二ツ橋水辺愛護会

良好な水辺環境の維持に永年ご協力いただいている水辺愛護会の皆さまに感謝の気持ちをお伝えするために、今年も表彰式を行います。永年表彰団体は左図の通りです。表彰団体には後日ご案内を送付いたします。表彰団体以外の方はご予約不要ですので当日直接会場にお越しください。表彰式、活動報告会の後に講演会を予定しています。ぜひご参加ください。

横浜市道路局河川管理課のホームページより

5月定例クリーンアップ

【活動報告1】

5月27日(日) 9:00~11:00 晴れ

細川一雄

実施内容: 大道東橋~大道橋~朝比奈橋上流

(土嚢袋9袋(内大道小6袋)分回収)

参加者: 長野政治、長橋輝明、西澤博厚、小坂信房、角田繁、石塚正夫、村田章夫、中村健二、外川忠志、関場俊子、関場さら(小1)、関場頼(年少)、山田陽治、金沢由香、今井康祥、今井幸子、今井翔太(中1)、今井はるか(小4)、貞廣裕子、貞廣果南(小2)、小池碧馬、林正隆、林友美、林正朗(小4)、宇多芳美、柏倉正和、柏倉智春、柏倉陽向(小6)、柏倉陽斗(小3)、小川和美、小川翔太(中1)、小宮彩、小宮一葉(小4)、小宮涼真(小1)、柴田繭子、柴田真菜(中1)、柴田幸成(小2)、金子英司、深沢大地、長崎光則、貞廣宇保、細川一雄(計42名)



地蔵前橋上流の作業



回収したゴミ9袋
(3袋+大道小の6袋)

救命救急・応急手当講習会

【活動報告2】

5月27日(日) 13:00~15:00

一葉(小4)

5月27日救急救命講習を受けました。
消防士さんにAEDの使い方や心
ぞうマッサージのやり方を教えてもら
いました。
私たちは海や川での活動が多いので
もしものために真剣にとりくみました。
一定のスピードで心ぞうマッサージを
することはつかれるし手ごもの力では
大へんでした。
なので今後事故を避けたいらまは
大人をよぶことが大切だと思いました。
でもこのような知識を多くの人かもては
早めの処置ができるし生存率も上げ事か
できるので救急救命講習を受けて良か
たです。



会員の集い

【活動報告3】

6月9日(土) 18:00~19:10 大道コミュニティ 河本充雄

今年もホタルの時期に恒例となっている、会員の集いが開催されました。

昨年度の活動報告と会計報告・監査報告のあと、スタッフとして、学生部生物調査クラブに深沢大地君が新たに加わり、山田代表に代わって遠藤ゆうさんがジュニア探検クラブのリーダーなることが承認され、また、ここ数年、家族で入会する方が増えていたため、会則に、年会費として「家族会員4000円」を追加することが承認されました。続いて、今年度の活動計画案と予算案も承認され閉会となりました。



ホタル観察会

【活動報告4】

6月9日(土) 19:30~20:30 大道中学校

小池碧馬

6月9日、毎年恒例のホタルの観察会がありました。ホタルの数は19時45分の時点で39頭いました。また、242人の人がホタルを観に来てくれました。

自分も複数のホタルを観れました。また、ホタルの光っている様子が綺麗でした。

来年はもっと多く観られるといいですね！今年来た方も来れなかった方も、来年ぜひ来て下さい。



6月定例クリーンアップ

【活動報告5】

6月24日(日) 13:00~15:00 晴れ

(午前中雨模様のため午後に変更)

細川一雄

実施内容：大道東橋～大道橋～朝比奈橋上流 (土嚢袋4袋、ビデオ/DVD録画装置、携帯型DVDプレイヤー、ネットワーク用ルーター・ハブ、モデム、キックボード、太い塩ビパイプ、ダクトパイプ他回収)

参加者：長野政治、中村健二、小野田幸介、西澤博厚、角田繁、外川忠志、関場俊子、飯村優介、今井康祥、今井翔太(中1)、金澤由香、柴田繭子、柴田真菜(中1)、柴田幸成(小2)、武藤晴美、加藤由里子、加藤湊(4歳)、深沢大地、保坂匠美(小3)、細川一雄(計20名)



山王橋橋下流
(土嚢袋と網を持って)



二の橋下(ゴミは無いかな？
魚はいないかな？)



回収した土嚢袋4袋(ペットボトルと缶ビール多)、電気機器、太い塩ビパイプ、ダクトパイプ等回収



里野橋下に廃棄されていた電気機器類。(同じ場所に廃棄されていたので同一犯？引越して不要に？)

7月14日(土)、15日(日)

柏倉陽向 (小6)

初めてのいかだくだりはとても楽しみでした。前日のオール作りでは、暑い中の作業でした。はりがねをまくのが大変でした。終わったらチームを決めて、チームのはたをつくりました。絵を書いたりしてとても楽しかったです。翌日本番になって、とても緊張しました。安全講習でなかったことを意識してやりました。そこから弟がダウンして3人になってしまい、こいでもクルクル回って全然すすまなくて、笑うしかなかったです。水深は深かったのでおれずとてもやりづらかったです。ブイのあいだをギリギリ通って、暑かったのであさい所で水あびをしました。休けいたあと、またこいで野島の海岸を目指して必死にこいだのですが、クルクル回って進みません。と中4年生の子がダウンして6年生2人になって、そこからもっと進まなくなりました。やっとゴールして水の上にかんで、片づけして、昼食食べてとても楽しい一日でした。順位は最下位だったのですが、楽しく終わったのでよかったですと思います。来年もさん加したいです。

貞廣宇保 (小6)

私たちは、侍従川いかだくだりに行ってきました。前日はオール作り&チーム決めとチームの旗を作りました。またライフジャケットをつけての安全講習をしました。当日は、ヨークマートの裏からスタートして野島海岸に出るルートでいきました。最初の方は水深が浅く、いかだを手でおしながら走りました。関東学院大学の前でジュースをもらいました。しばらくするとジュースが1本流れてれていくのが見えました。平かたわんの入り口では、また少し浅く、手で押しながら深いところにもっていきました。しかし、いかだの底に砂がたまってしまったため速度が落ちていきました。来年は、もっとメンバーで息をかわせてチャレンジしたいです。



林正朗 (小4)

いかだくだりは、けっこうかいてんしてたいへんでした。そこのプラぼんにすなが入ってたいへんでした。と中いっしょにのっていたHさんがだつらくして、スピードダウンしてしまい大へんでした。もらったジュースを一口のんだらながされてさいあくでした。さいごのさいごにきもちわるくなって、だつらくしてしまいました。クラゲがいました。ビリだったけどたのしかったです。また今どさんかしたいです。



7月定例クリーンアップ

【活動報告7】

7月22日(日) 9:00~11:00 晴れ 35℃

細川一雄

実施内容：大道東橋～大道橋～朝比奈橋上流（土嚢袋7袋、車のホイールキャップ、百円ライター多数他回収）

参加者：長野政治、長橋輝明、西澤博厚、村田章夫、中村健二、角田繁、関場俊子、関場さら(小1)、関場らい(年少)、外川忠志、山田陽治、飯村優介、柏倉正和、柏倉智春、柏倉陽向(小6)、柏倉陽斗(小3)、貞廣宇保、水野公秀、水野秀昭(小5)、柴田繭子、柴田真菜(中1)、柴田幸成(小2)、深沢大地、小野田幸介、小野田勇貴、小池碧馬、中山心、細川一雄(計28名)



地藏前橋下
(支流のゴミも見逃さず)



回収した7袋のゴミ、車のホイールキャップ

トピックス

7/4(水) かながわ保育園(園児20名)が侍従川で川遊び…関場、西澤、細川が対応

7/5(木) 自主保育そらまめのねっこが侍従川で魚釣り…山田が対応

7/13(金) 大道幼稚園(園児100名)が川遊び…村田、関場、西澤、細川が対応

7/17(火) 六浦南小学校4年生に侍従川のレクチャー…山田が対応

7/18(水) 鶴見あけぼの保育園が侍従川で魚釣り…細川、山田が対応

8/19(日) やまだようじ自然塾「親子魚釣り教室 in 侍従川」(主催：自然体験教育研究会 NEES) 開催…山田が対応

8/29(水) 六浦南小学校4年生が侍従川で生きもの観察…細川、山田が対応

9/1(土) 横浜すきっぷ保育園 親子で侍従川で魚釣り…山田が対応

学生部合宿 in 三戸浜

【活動報告 8】

8月11日(土)～12(日)

大野颯太

私は8月11日の夜から8月12日にかけて侍従会学生部合宿in三戸浜に参加しました。1日目の夜は大ちゃん達が白米とベラの塩焼きとマツバガイとカメノテの味噌汁を作ってくれました。ベラの塩焼きは身が引き締まってて美味しかったです。味噌汁のマツバガイはアサリの身に食感が似てました。どれも美味しかったです。飯を食べているとランタンの周りにハマダンゴムシが沢山集まって来ました。とても可愛かったです。

続いて2日目 朝食は豚丼を作りました。朝からボリュームのある食事でした。8時ごろ探り釣りをやりましたがクサフグしか当たらず諦めてしまいました(笑) 10時ごろから海に入ってシュノーケルをしました。波は少し高かったです。小さなカサゴやタカノハダイ、カゴカキダイ、小型のアイナメ、小型のメジナ、ムラサキウニがいました。雨の後だったので視界があまり良くなかったです。

海から上がった後撤収作業を行いました。テントの中にはカニやフナムシ等が入り込んでました。何とかテント等をまとめて片付けたら三崎口の駅まで誰がどの荷物を運ぶか決めて、三戸浜海岸まで歩きました。三崎口の駅まで歩いてる途中、路地で休憩していると近所にすんでいる親切な方が三崎口駅まで送迎してくれました。とても助かりました。

学生部合宿に初めて参加しましたが とても楽しい行事でした。また来年も参加したいなと思います。



8月定例クリーンアップ

【活動報告 9】

8月26日(日) 9:00～11:00 晴れ 36℃

細川一雄

実施内容: 大道東橋～大道橋～朝比奈橋上流 (土嚢袋6袋、ペットボトル・空き缶多数他回収)

参加者: 長野政治、中村健二、西澤博厚、石塚正夫、角田繁、小坂信房、高橋のりみ、佐野真吾、水野公秀、水野秀昭(小5)、柏倉正和、柏倉智春、柏倉陽向(小6)、柏倉陽斗(小3)、浦信太郎、浦友美、柴田繭子、柴田幸成(小2)、金子英司、深沢大地、小野田幸介、小野田勇貴(小6)、宇多芳美、前川詩水佳、小池碧馬、細川一雄(計26名)



ブックオフ下(酷暑の中、汗だくでした)



回収した6袋のゴミ

ピカピカタンポポだより⑨ 横浜市立大道小学校 鷺谷康子

6月23日（土）大道小学校トンボ池のエコアップを行いました。

曇り空の中、大道小学校トンボ池のエコアップが行われました。

池の周りのクヌギなどの落葉樹の葉っぱが秋から冬の間池に落ち、それが、池の底にたまってヘドロ状になっていました。また、気温が高くなり、水質も濁りや臭い、緑やピンク色の藻の発生などがありました。

侍従川の方たちにも、学校としてお話を聞いたことを基に、今年は①池の底にたまったヘドロをとる。②ザリガニを駆除する。③池の生き物を守る。という3点を重点的に行いました。



前日から閥を開け、当日の朝の8時からポンプを使って水を抜き始めました。地域の大道村の方々、学校で呼びかけた30人ほどの親子を中心に、近くの横浜信金の方、大道小学校の職員が集まりました。集まった方から準備を始め、まずは、生き物の保護。網を使ってすくい取り、水槽に入れていきます。メダカ、えび、クチボソなどがたくさん保護されました。そして、

ザリガニは、別の水槽へ分けて、駆除（正門池に入れました。）。今年は思いのほか、ドジョウが多いのが目につきました。

エコアップは毎年行うのですが、どうしても藻の発生などがあります。定期的に行っていくことが大切なんだなあと思います。でも、エコアップの時に、たくさんの生き物と出会うことができ、ほっとしています。だいぶ底の土やヘドロをとってしまい、水深も深くなってきたので、来年は、土や砂を入れることも考えるそうです。

たくさんの方の力で、大切にされているトンボ池。これからも、子どもたちの生活の場のひとつとして、守っていきたいと思います。





虫のきょういく座談会 ～侍従会西表島支部～



参加者：青木洋碧、佐野真吾、佐野歩海

以前、当座談会の中で「神の島、新城島（アラグスク島）」について談話したことを覚えているだろうか。（編集部注：2014年6月14日発行 第26号（オオミズアオ号）です。）それから数年後の2018年6月、筆者佐野はついに新城島に上陸したのだった。その後、新城島での調査を終え、隣にある西表島に渡り1週間あまりが経過し、離島での旅は最終日を迎えていた。そして、最終日の夜、夕飯を食べようと街角にあった店に入ると店内にいた青年に突然「サノシン！！」と、声をかけられたのであった。

佐野「え？・・・えええ？？アオヘイクンじゃん！！」

日本の果てで突然サノシン呼ばわりされ一瞬誰だか分からなかったが、顔を見てすぐに認識することが出来た。彼は侍従会学生部の後輩、アオヘイクンこと青木ようへい氏だった。

青木「実は1週間前に港で船から降りてくるサノシンを見かけたんですよ！でも仕事でだったし、サノシンがこんな所にいるわけないよなあ～って思って声掛けるのを躊躇っているうちに見失しなっちゃって！」

佐野「なんだよ！声かけてよ～！・・・ん？仕事？てか、アオヘイクンは何やってんの？旅行じゃないの？」

青木「いや移住しました！（笑）」

佐野「えっ！？移住！？いつから？てか、去年まで神奈川にいたじゃん！？てか去年会ったよね？」

青木「半年くらい前です！思い切って移住しちゃいました！（笑）」

佐野「思い切って！？半年って、もう結構経ってるじゃん！疑問点が多すぎるな！」

筆者は当初、夕食後に夜の林道に繰り出し生き物を探す予定だった。しかし、予期せぬ青木氏の登場に驚き喜び、結局生ビールを注文する流れになったのだった。

佐野「まあ～とりあえず、日本の果てで再会できたことにカンパイ！！」

歩海「アオヘイクンは何で移住したの？」

佐野「早くない？いきなり本題からいっちゃう？（笑）」

青木「いやあ～会社務めに疲れまして～（笑）」

佐野「よくある理由だな！（笑）でもそれで西表までいく？しかも移住！」

青木「まあ会社辞めたっていうのは理由というよりキッカケで、心を病んだとかそういうんじゃないんですよ。子どもの頃に家族で行った西表のことがずっと頭に残っていたんですよね！」

歩海「最近脱サラして離島に移住するって一部で流行ってるもんね〜」

青木「そうなんですよ〜 運良く現地での仕事もすぐに見つかったので、これは移住しかないと思って！」

佐野「へえ〜 アオヘイクンって結構破天荒なところあったんだね〜」

青木「今は、休みがあればツアーに参加して西表の自然を満喫してますよ☆ 将来的には自分でツアーできるようになりたくて！」

歩海「へえ〜 いいねえ☆ しんちゃん（佐野）も西表でツアーできるんじゃない？ ヘンな場所いっぱい知ってるじゃん！」

青木「サノシン知ってそう！（笑） 虫とりで普通の人が入らない所に入っていくんですよ？（笑）」

と、謙遜しながらも青木氏はこの半年でずいぶんいろいろ探索しているようで、島内の地理や生き物のポイントなど、かなり詳しくなっているようだった。

佐野「しかし、アオヘイクンがこんなにワイルドな男になるとはなあ〜」

青木「侍従会で育ったっていう影響は大きいですよ！ でも移住して間もない頃は、人付き合いとか結構大変だったんですよ！ 近所のオバアは挨拶しても返してくれないし、職場でもどうせ辞めるだろうと思われてたし。」

歩海「やっぱり外部の人には厳しいの？」

青木「内地で問題起こして逃げてきてる人も時々いるので、外部の人を警戒するっていうのはあると思いますが、それよりも西表って意外と移住に憧れた内地の人間が入って来るんですよ。でもほとんどの人は、結局定着することなくすぐに帰っちゃうんですよ。だから島の方は「どうせコイツもすぐいなくなるんだろ！」って期待してないんですよ！」

歩海「へえ〜 そうなんだ！！」

青木「近所のオバアが挨拶を返してくれるようになるまで数か月かかりましたよ！（笑）それで僕は住民票も西表に移しました！」

佐野「覚悟やね！」

我々が話している間にも何組か来店する人がいたが、青木氏は一人一人に挨拶をし、すでに顔見知りになっている様子だった。

青木「あの人たちもみんな内地出身者なんですよ。」

佐野「えっ島の人じゃないの？ てかすげえな！ めっちゃ顔広いじゃん！」

青木「狭い世界ですからね (笑) 一人で飲もうと思っても店に行けば誰かしらいて、結局ワイワイなっちゃうんですよ (笑)」

佐野「でもそれなら寂しくなくていいじゃん☆」

青木「たまには一人でゆっくりしたい時もあるんですけどね (笑) でもみんな寂しいんですよ。島にやって来る人たちは。」

「みんな寂しい」と言った青木氏の言葉には深みを感じた。すでに島で半年過ごしている男の経験と感覚なのだろう。その後、話題は、島の祭事や当時の侍従会メンバーの話、青木氏の恋愛の話までに至ったが、23 時頃閉店時間を迎えたため店を出ることにした。

佐野「西表には数年に 1 回くらいのペースで行くからさ！ それまでに良い虫とりポイント探しておいてよ☆」

青木「あはは了解しました！」

佐野「次行ったらもう神奈川に帰ってるとか言わないでよ！ 侍従会西表支部だからね！ (笑)」

青木「住民票移したんだから簡単には帰りませんよ！ (笑)」



こうして、青木氏とは大原港前の交差点で別れた。その後筆者らは大原港で車中泊をしたのだが、車内にゴキブリと蚊が侵入しており、妻は夜通し格闘していたらしい。大らかな性格の筆者は、お酒の力も手伝って朝まで熟睡だった。

朝夷奈の森通信 ~森の忍者より~ 飯村優介

3~5月はフランス、パリの芸術会館で自炊生活でした。そこは都市だが、交通パスで田舎の広大な森に行けた。自由利用の森でキノコ狩りも名所。春はワラビが多く東洋系の人々に人気だ。僕も利用して楽しんだ。ついでにヒラタケもありフランスでも経験が役立った。店ではセップもあったが高値だった。

さて、帰国後は梅雨短く猛暑、朝比奈の森のセップはすくなめ。8月の紀伊半島の旅ではセップの仲間の高級キノコがとれてこれらはとても評判がよかった。



朝比奈のセップ



紀伊半島のアカヤマドリ



紀伊半島のアカジコウ

琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～
～ イリオモテミナミヤンマ ～



学名 : *Chlorogomphus iriomotensis*

体長 : ♂75～83mm、♀78～87mm

分布 : 西表島

撮影地 : 沖縄県西表島 2018年5月

西表島固有種の大型トンボでメスは前後の羽の縁が黒く縁取られ、オスは羽の先端に僅かな黒斑がある。本種を含むミナミヤンマ科は日本最大のトンボ、オニヤンマに近縁でヤゴの姿もよく似ている。5月～6月、日中山の尾根の上空を飛んでいる姿が見られるが、写真のように止まっている姿を見るのはなかなか難しいようだ。

監修 : 熊井健 (沖縄在住)

侍従川フォトギャラリー



カルガモの親子

2018年6月11日

撮影 細川一雄

北の国から ～春先の楽しみ山菜取り～ 瀧本宏昭

北海道の春先の楽しみのひとつが山菜取り。4月の終わりから5月の初め頃、森の道のはずれでしゃがんでガサゴソしている人を多く見かけます。帽子をかぶり、軍手をはめ、片手にビニール袋を持ち、腰に鈴または電源つけっぱなしのラジオをさげる。これが基本スタイルのようです。音を出し続けるものを身に着けるあたりは、クマが多く出没する地域ならではかもしれません。



ニリンソウの花

そんな時期に私も知人と山に入って山菜を取ることに。主に取ったのはギョウジャニンニクとニリンソウ。ニリンソウは黄金探しとアイヌ民族の食事を描いた漫画から得た情報で以前から興味があり、今回はじめて採取してみました。横浜だと保護の対象だったので不思議な感じです。



細く深く裂けているのがトリカブト

ニリンソウを採るときに危なかったのがトリカブトの存在。写真のように、ニリンソウに混じって生えていました。植物を見慣れない人が勢いで採っていると間違えてしまいそうな感じで、インターネット上でも間違いやすい植物として挙げられていました。エゾトリカブトはトリカブトの中でも特に毒が強いようです。



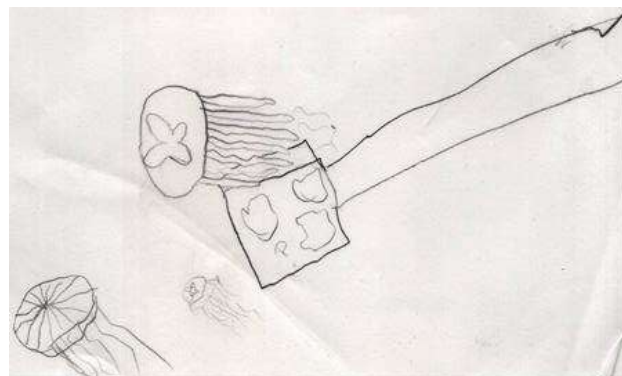
遠くから数分間じーっと見られた

採取したギョウジャニンニクは天ぷら、ニリンソウは汁物の具にいただきました。ギョウジャニンニクは、にんにくのような風味がありながらも辛さは無く、甘みがあって美味しかったです。ニリンソウはお茶のような風味で、肉との相性ばつぐん。こうして取れたての山菜を食べられる自然環境が身近にあることに贅沢さを感じられた春先なのでした。

侍従川アートギャラリー いかだ下り大会



林正朗 (小4)



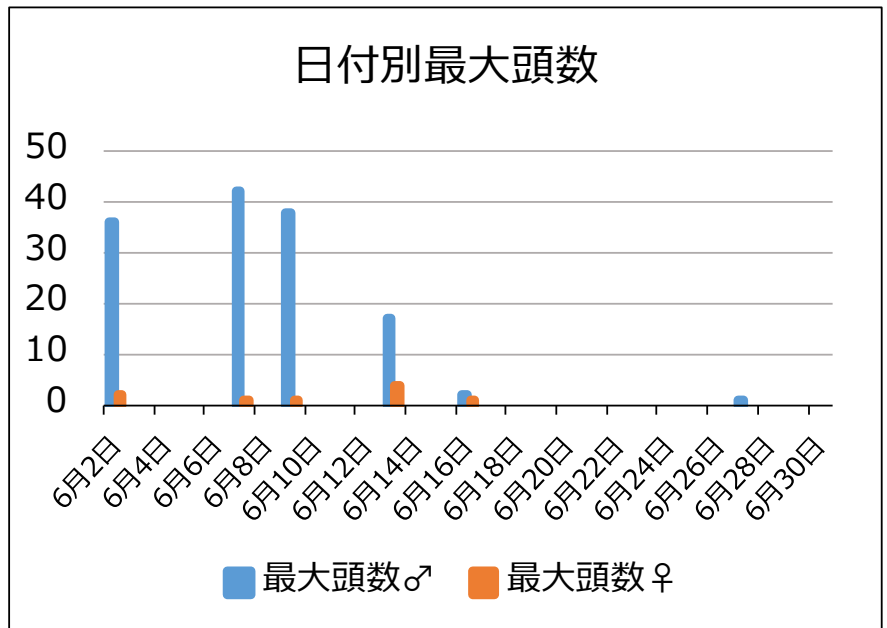
柏倉陽向 (小6)

侍従川定例調査報告 学生部

<<ホテル調査2018年6月2日(土)～6月30日(土)>>

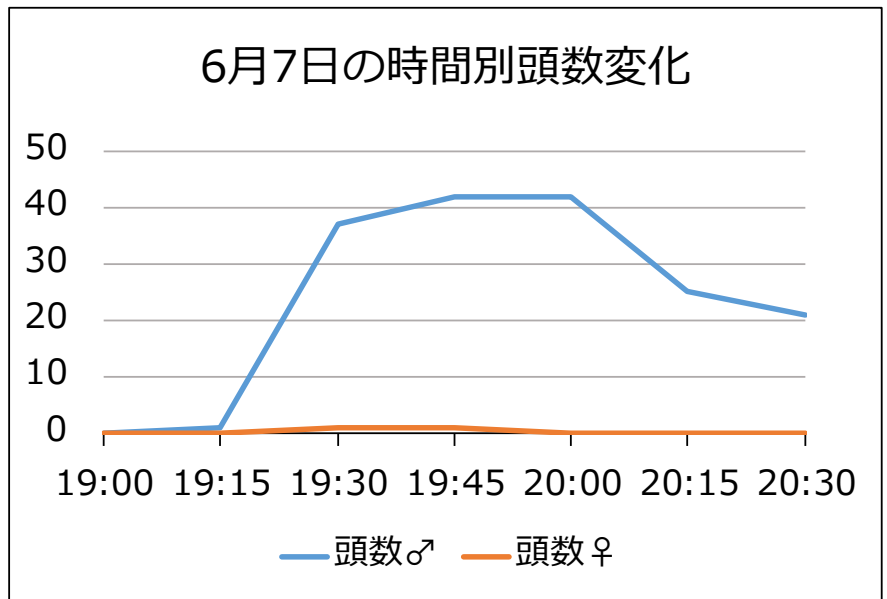
日付別最大頭数

	最大頭数♂	最大頭数♀
6月2日	36	2
6月7日	42	1
6月9日	38	1
6月13日	17	4
6月16日	2	1
6月27日	1	0
6月30日	0	0



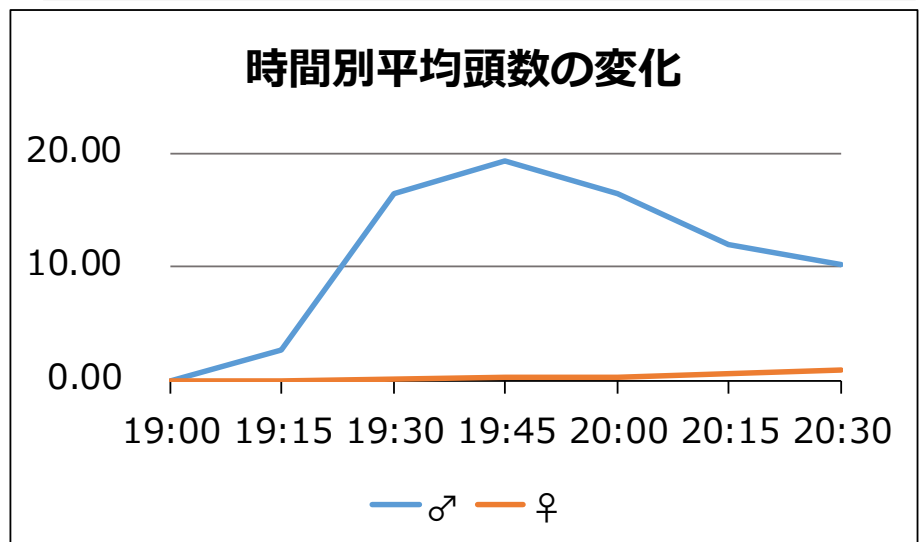
6月7日の時間別頭数変化

時刻	頭数♂	頭数♀
19:00	0	0
19:15	1	0
19:30	37	1
19:45	42	1
20:00	42	0
20:15	25	0
20:30	21	0



時間別平均頭数*

時刻	♂	♀
19:00	0.00	0.00
19:15	2.71	0.00
19:30	16.43	0.14
19:45	19.43	0.29
20:00	16.43	0.29
20:15	12.00	0.57
20:30	10.17	1.00



* 6月2日～30日までの時間毎の頭数を平均化した数値

2018年7月22日(日) 晴れ 長潮

9:00~11:00〔生き物調査〕

【確認した生物】チチブ、ウキゴリ、スミウキゴリ、ビリンゴ、マハゼ、ウロハゼ、ボラ、アユ、クサフグ(目視)、ハグロトンボ(成虫・幼虫)、コヤマトンボ(幼虫)、クロベンケイガニ、モクスガニ(脱皮殻)、ミソレヌマエビ、ナミテナガエビ、ヒラテテナガエビ、イシマキガイ、カワニナ、クサガメ(目視)、ニホンイシガメ(目視)、ミシシippアカミミガメ(目視)、ヒバカリ

午後〔釣り調査〕

【調査範囲】汐見橋~平潟橋

【参加者】深沢大地・貞廣宇保・一葉・柴田真菜

【備考】汐見橋付近と雪見橋~平潟橋で釣りを行ったが、釣果は0だった。

目視でクサフグ、チチブ、スズキ、アカエイ、ボラ、アユ、クサガメ、ミシシippアカミミガメを見ることが出来た。

釣れなかった理由としては潮が動かず魚の活性がかなり低かったことが上げられる。たまにアタリはあったもののしっかり食い付かなかったのもこれが原因だと思われる。

生き物発見記録

8/10(金) 18:30頃、源流から森つづきの関谷奥の尾根道でホンドタヌキを目撃。(飯村)

事務局だより

◆9月以降の活動予定◆

☆定例クリーンアップ9/23(日)、10/28(日)、11/25(日)、12/23(日)

9時~12時ちとせ園集合 ※雨天延期…翌土日曜

持ち物：川に入れる格好、タオル、軍手(必要な人)、網(使いたい人…貸出あり)、着替え(心配な人) ※川の上からの参加でも構いません

☆9/30(日)ハゼ釣り大会 9:00~15:00ぐらい

【集合】9:00大道小学校 【参加費】会員無料、非会員¥500(食材費、保険代込)

【持ち物】参加費(非会員)、釣具&釣竿(ない人はご連絡ください)、昼食(買い弁可)、箸&皿、飲み物、帽子、タオル、レジャーシート(必要な人)、ウエットティッシュ(必要な人)、その他 *雨天中止

◎要申込み…参加人数、竿(竹竿)レンタル数、緊急連絡先(雨天中止連絡アドレス)を記入の上、info@enyu-pn.com(遠藤)まで

☆ 11/3 (土) 秋の恵みをいただく！ 源流の森ハイキング 9:30～15:00ぐらい
[集合] 9:30大道小学校 [参加費] 会員無料、非会員¥300 (食材費、保険代込)
[持ち物] 山歩きしやすい格好、キノコなどを入れる袋、箸&皿、昼食 (買い弁可)、飲み物、タオル、軍手 (必要な人)、レジャーシート (必要な人)、その他 *雨天中止

☆ 12/1 (土) 冬の森探検 9:00～15:45ぐらい
[集合] 9:00大道小学校 [参加費] 会員無料、非会員¥100 (材料費、保険代込)
[持ち物] 参加費 (非会員)、山歩きしやすい格好、長靴 (負担にならない人)、小さな網 (使いたい人)、昼食 (買い弁可)、飲み物、軍手、剪定ばさみorナイフ (ある人)、タオル、レジャーシート (必要な人)、レジ袋 (ゴミ入れなど)、その他 *雨天中止

☆ 1/26 (土) ネイチャークラフト教室 9:00～15:30ぐらい
午前…朝比奈の森でつる採り
午後…大道コミュニティハウスでカゴ作り
[集合] 9:00大道小学校 [参加費] 会員無料、非会員¥100 (材料費、保険代込)
[持ち物] 参加費 (非会員)、山歩きできる格好、軍手、剪定ばさみ (ある人)、エプロン (服が汚れるのがイヤな人)、座布団 (床に座るので必要な人*椅子はあります)、昼食 (買い弁可*隣にファミレスあり)、飲み物、タオル、その他 *雨天中止

■学生部の活動

☆ 11月末～2月までの間に月2回のペースで実施 水鳥調査

☆ 12月～2月クリーンアップ後の午後に計3回実施 大道溪谷整備

※詳細はメーリングリストでお知らせします。

<<平成30年度会費納入のお願い>>

今年度の会費をまだ納入されていない方は、早めの納入をお願いいたします。

家族4,000円、大人3,000円、学生部・ジュニア1,500円

郵便払込口座：00230-5-68634 ふるさと侍従川に親しむ会

今年度から家族会員が新設されました。家族であれば何名でも4,000円です。

現金での支払いは間違いのもとになりますので、必ず郵便局払込票で支払ってください。

なお、払込料金は、**払込人負担** (青色の払込取扱票) とさせていただきます。ご理解・ご協力をお願いいたします。

また、払込票の通信欄に、会員種別 (家族、大人、学生部、ジュニア)、お名前 (全員分)、会報の郵送希望の有無の記入をお願いいたします。

《編集後記》 今年の夏は、これまでにない猛暑にも関わらず多くの方が活動に参加してくださいました。ありがとうございました。(MK)

ふるさと侍従川に親しむ会
事務局連絡先
jijyukai@gmail.com